



## 菅平高原カントリーフェスティバル



真田地域の  
イベント&  
スポーツ大会等



日時 ▶ 6月5日(日) 午前9時30分～午後3時  
会場 ▶ 国際リゾートセンター前芝生広場

6月5日に菅平高原カントリーフェスティバルが開催されます。

農産物の直売などのほか、好評の牛ステーキの販売も増量して行われます。

道化師によるパフォーマンスなどイベントも多彩で1日楽しめます。

☎ 菅平高原観光協会  
TEL74-2003

### 5月

- 21日 東信地区小学生陸上競技大会 (菅平サニアパーク陸上競技場)
- 28日 東信地区中学生陸上競技大会 (菅平サニアパーク陸上競技場)

### 6月

- 5日 菅平高原カントリーフェスティバル
- 12日 市民陸上カーニバル (菅平サニアパーク陸上競技場)



## 御屋敷公園のつつじと真田庵のおはぎ

真田氏が上田城を築城する以前の居館跡である、本原の御屋敷公園では、5月中旬から6月上旬にかけて約600株のつつじが満開になり、公園一帯が赤く染まります。

御屋敷公園の隣にあり、「おはぎ」が好評の真田庵の営業が始まりました。

地元産の胡桃でつくる「くるみおはぎ」は評判で、休日には、これを目当てに全国からお客様が訪れます。

さらに、地元産のそばと野菜をたくさん使った「そばすいとん」「うちいれ(ほうとう)」も好評です。

営業時間は、朝10時から午後3時30分まで。5月中は休まず営業ですが、6月から7月10日は土日のみ営業となります。7月11日以降の営業日はお問い合わせください。



☎ ふるさと特産品 味の研究会 代表 小川 TEL090-4952-6278



### 行事の中止について

東北地方太平洋沖地震及び長野県北部の地震を受け、5月22日(日)に開催が予定されていた「御屋敷つつじ祭り」は中止となりました。

また、5月15日(日)の真田地域体育祭も中止されました。

被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

■ 路線バスを利用しない主な理由について(複数選択可)

「ちょうど良い時間に走っていない」が735件(24.9%)、「運賃が高いから」が566件(19.2%)、「目的地まで運行していないから」518件(17.5%)でこの上位3件で6割を占めています。また、その他で「自家用車の方が利便性が高い」という意見も多く寄せられました。

内 容	回答数	割合
ちょうどよい時間に走っていないから	735	24.9%
運賃が高いから	566	19.2%
目的地まで運行していないから	518	17.5%
目的地まで行くには、他の交通手段との乗換えが必要だから	420	14.2%
その他	389	13.2%
バス停が近くにないから	325	11.0%
無回答	259	-

■ 生活するのに必要な交通の確保や、福祉の充実という視点でバス利用を促進するためにはどうしたら良いか(複数選択可)

「路線バスの通過場所、運賃、時刻等を見直し利便性を高めた方がよい」が750件(26.9%)で、総合的に改善の必要性が高いことがわかりました。

内 容	回答数	割合
路線バスの通過場所、運賃、時刻等を見直し利便性を高めた方がよい	750	26.9%
路線バスの利用補助(補助券等)をした方がよい	485	17.4%
新たに循環バス等を導入した方がよい	442	15.9%
路線バスを廃止し、デマンドバス方式(予約制バス)に変更した方がよい	224	8.0%
路線バスを廃止し、高齢者を対象にタクシー券の配布をした方がよい	258	9.3%
路線バスは廃止になっても仕方がない	116	4.2%
現状のままでよい	250	9.0%
わからない	200	7.2%
その他	61	2.2%
無回答	169	-

■ 真田地域の公共交通の利用促進等について寄せられた主な意見

主 な 意 見	地 区 別				計
	菅平	長	傍陽	本原	
バスの小型化・小型バスに変更する	4	23	28	31	86
時間帯によりバスの大小を使い分ける	5	10	8	21	44
便数が少ない・増便してほしい	1	11	17	14	43
運賃が高い・半額または安くしてほしい	2	9	7	16	34
デマンドバス・デマンドタクシーに変更したらどうか	8	12	5	9	34
循環バス・オレンジバスに変更または導入する	2	10	13	8	33
高齢になり運転できなくなったら利用すると思う	1	3	12	13	29
マイクロバスに変更する	3	7	11	7	28
運行時間見直し・利用したい時間帯に運行していない	5	6	8	7	26
バス停留所の新設・増設	2	2	2	17	23



■ 利用者の声

- 上原バス停ができてとても助かっている
- 存続に向け住民自ら何とかしようと思える覚悟が必要ではないか?
- 飲み会の帰りに利用できてありがたい。
- 上田駅発の最終便をもっと遅くしてもらえれば...
- 傍陽線が迂回するようになって大変便利になった。通学にとっても助かっている。
- あってもほとんど乗らないけど無いと不便。

- 【下郷沢にお住まいの40代の方】
- 【つくしにお住まいの50代の方】
- 【下原にお住まいの30代の方】
- 【荒井にお住まいの40代の方】
- 【中原にお住まいの10代の方】
- 【横尾にお住まいの50代の方】

結果の詳細、ご意見等については真田地域自治センター建設課までお問い合わせください。(72-4331) (有線 2089)

「真田地域路線バス」アンケート結果報告

乗って残そう!!  
路線バス!!



現在、路線バスは利用者が激減し、バス事業者だけの努力では維持することさえ大変難しい状況を迎えています。

このことから上田市と真田地域協議会は、路線バス及び他の公共交通の可能性を検討するための基礎資料として、昨年12月中旬から今年1月中旬まで真田地域の全世帯に対し「真田地域路線バス」アンケートを実施しました。

その結果がまとまりましたので、概要をご報告いたします。

市及び真田地域協議会では、このアンケート結果をもとに、これからの真田地域の路線バスのあり方等について引き続き検討を行ってまいりますので、今後とも皆様のご理解・ご協力をよろしく願います。

なお、取りまとめにおいて、無回答及び重複回答があるため、集計数値が合致しないものがあります。またパーセンテージについても、小数点第2位を四捨五入してあります。

調査対象	真田地域36自治会全戸(3,541戸)
調査期間	平成22年12月15日から平成23年1月17日まで
調査方法	自治会を通じてアンケート用紙を全戸配布・回収
回収枚数	1,888枚(53.3%)

■ 一緒に住んでいるご家族の年代と人数について

区 分	~19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳~	無回答
人 数	996	477	579	688	948	953	780	632	40
割 合	16.5%	7.9%	9.6%	11.4%	15.7%	15.7%	12.9%	10.4%	-

■ ご家族が路線バスを利用する頻度について

「ほとんど乗らない」が2,410人(48.6%)、「乗ったことがない」が1,864人(37.6%)で、計86.2%の方が利用していない状況であり、存続に向け今後の利用促進が課題です。

内 容	ほぼ毎日	週1~3日	1ヶ月に2~3日	雨・雪が降ったら	ほとんど乗らない	乗ったことがない	無回答
人 数	138	120	305	122	2,410	1,864	180
割 合	2.8%	2.4%	6.2%	2.5%	48.6%	37.6%	-
	5.2%		8.6%		86.2%		

■ 利用者のうち、主にどのような目的で路線バスを利用しているかについて

「通院」が279人(28.9%)、「買物」が229人(23.7%)で半分以上を占めています。また、「通勤・通学の往復」169人(17.5%)と「片道」119人(12.3%)を合わせると288人(29.8%)となります。

(人数(割合))

目的	真田地域内	上田市内	市外	合計
通勤・通学(往復)	30(3.1%)	121(12.5%)	18(1.9%)	169(17.5%)
通勤・通学(片道)	19(2.0%)	91(9.4%)	9(0.9%)	119(12.3%)
通院	44(4.6%)	223(23.1%)	12(1.2%)	279(28.9%)
買物	47(4.9%)	172(17.8%)	10(1.0%)	229(23.7%)
行楽	9(0.9%)	48(5.0%)	27(2.8%)	84(8.7%)
その他	6(0.6%)	74(7.7%)	7(0.7%)	87(9.0%)
計	155(16.0%)	729(75.4%)	83(8.6%)	967(-)
無回答	65			

■ 路線バス以外で利用している交通手段と、その人数について

「自分で自家用車・バイク・自転車等運転」が3,721人(70.4%)で、約7割の方が路線バスに代わる交通手段を持っています。また、「家族等の自家用車での送迎」は1,095人(20.7%)で、約2割の方が家族等の協力が必要です。一方、「路線バス以外の交通手段がない」は65人(1.2%)おり、今後高齢化、過疎化によって増えることが予想されます。

内 容	人数	割合
自分で自家用車・バイク・自転車等運転	3,721	70.4%
家族等の自家用車での送迎	1,095	20.7%
徒歩	237	4.5%
タクシー・ハイヤー	89	1.7%
路線バス以外の交通手段はない	65	1.2%
福祉バス(ふれあいバス)	51	1.0%
その他	27	0.5%
無回答	79	-

カメラニュースでは、地域の中の様々な出来事や話題をお届けします。



## カメラニュース

### 第11回 ふるさと再発見ウォークラリー

4月23日に「第11回ふるさと再発見ウォークラリー」が開催されました。時折小雨が降る空模様でしたが、市外からの参加者を含む87人が本原・長地区の名所・旧跡を巡りました。

御屋敷公園を出発し、北赤井神社や真田氏本城跡などを巡る約7kmのコースに、10箇所のポイントが設けられ、参加者は各ポイントで「真田の郷 探検手帳」にスタンプを押してもらいました。

真田氏本城跡では郷土史研究会の方による史跡の説明を聞き、ミミールの会の皆さんによる真田の民話「真田のなた」の紙芝居も上演されました。

ゴールした後は、真田はぐくむ会の皆さんによる「さなだ汁」をいただきました。

コース沿いには様々な花が咲き、ウグイスの鳴き声も聞こえ、春を全身に感じながら、地域の魅力を再発見しました。



### 本原小学校お花見給食

4月20日に本原小学校でお花見給食が行われました。

前日の雨で遠くの山の頂には、うっすらと雪が見える少し肌寒い陽気でしたが、給食の時間になると児童達は元気一杯に校庭へ駆け出しました。

この日は、「ふれあい学級」での給食で、1・6年生、2・5年生、3・4年生と一緒に過ごし「みんなで食べるとおいしい」「外で食べるのを楽しみにしていた」と話してくれました。

期待された桜の花は、わずかに咲き始めでしたが、薄く色づいた桜の枝を眺めながら、お花見給食のお弁当を、桜色の頬をした満開の笑顔で食べていました。



### 真田中学校入学式

快晴となった4月5日に市内小中学校の入学式が行われました。

真田中学校では、整然とした式場で真新しい制服に身を包み、少し緊張した様子ながらも凛とした新入生が中学校生活を始めました。

暖かな日差しの中、頬を撫でる少し冷たい風が希望に満ちた新入生の表情を一層引き締めているようでした。

真田地域全体では昨年より18人少ない100人の中学生と、13人少ない93人の小学生が入学しました。



#### 平成23年度 真田地域小中学校入学者数

菅平中学校	男子 8名	女子 8名	計 16名	(昨年 8名)
真田中学校	男子 38名	女子 46名	計 84名	(昨年 110名)
菅平小学校	男子 2名	女子 4名	計 6名	(昨年 13名)
長小学校	男子 10名	女子 7名	計 17名	(昨年 22名)
傍陽小学校	男子 5名	女子 9名	計 14名	(昨年 18名)
本原小学校	男子 38名	女子 18名	計 56名	(昨年 53名)

# 真田地域協議会だより

## 平成22年度 第11回(3月16日)協議会より

3月16日の地域協議会において23年度のわがまち魅力アップ応援事業の採択について審査が行われ、次の11事業について採択が適当との意見書を市長に提出しました。

また、地域予算について、真田地域バスアンケートの結果集計について、および教育委員会事務局の組織改正について説明を受けました。

### わがまち魅力アップ 応援事業

#### 個性ある

##### ふるさとづくり事業

(自治会対象)

##### ●傍陽中組自治会 (継続採択)

「自然と文化の地域資源を活かした活気あふれる集落づくり事業」

##### ●戸沢自治会 (継続採択)

「文化財や歴史、伝統の継承は未来を創造する礎『ねじとわら午の里』戸沢自治会」

##### ●真田自治会 (継続採択)

「真田の歴史と文化を守り自治会員の触れ合える里 真田自治会」

#### 【特色あるまちづくり事業】

(まちづくり団体対象)

##### ●菅平高原雪合戦実行委員会 (新規採択)

「スノーボールバトルIN菅平高原&戦国雪合戦」

戦国雪合戦を開催し、集客と地域の活性化を図る。

##### ●NPO法人スポーツリゾーツがだら (新規採択)

「『地域の魅力発見』モバイル写真コンテスト」

携帯電話での画像投稿を通じ地域の魅力を再発見するとともに、魅力ある地域づくりを目指す。

##### ●菅平高原地域振興のための団体合同協議会 (新規採択)

「菅平高原憩いの森整備事業」

地域の山林を整備し、菅平高原を訪れる者に快適空間を提供する。

##### ●さなだスポーツクラブ (新規採択)

「トップアスリートが教える！こどもチャレンジスポーツ塾」

トッパアスリートを招き、実技教室や交流スポーツ教室を行い、子どもたちの成長を目指す。

##### ●本家真田・花の会 (新規採択)

「歴史的観光地の賑わい創設及び

地域活性化事業」  
長谷寺一帯に花木を植栽し、集客と地域の活性化を図る。

##### ●幸村街道会 (継続採択)

「真田一族の郷 しあわせむら(幸村)のお宝発見ウォークツアー」

##### ●りんごまつり保存会 (継続採択)

「身代わり地蔵りんご祭り」

##### ●真田三代ヒストリープロジェクト (継続採択)

「御屋敷つつじ祭り」は事業採択されましたが、中止となっています。

※「御屋敷つつじ祭り」は事業採択されましたが、中止となっています。

### 協議会委員の変更

次の団体推薦の委員に変更がありました。(任期は前任者の残任期間 平成24年3月31日までとなります。)

○長地区自治会連合会

前任 北 島 一 博さん

大久保 治 男さん

後任 金 井 定 男さん  
池 田 恵 一さん

○傍陽地区自治会連合会

前任 堀 内 秀 徳さん

後任 田 中 豊 年さん

○本原地区自治会連合会

前任 柳 橋 邦 人さん

後任 飯 島 一 雄さん

○真田地域保育所連合保護者会

前任 関 奈津子さん

後任 大 滝 祐 治さん

○真田地域健康推進委員会

前任 田 中 榮 江さん

後任 財 部 浩 子さん

## 平成23年度 第1回(4月20日)協議会より

4月20日に本年度最初の地域協議会が開催され、真田地域自治センター各課から昨年度の課題・目標に対する期末報告、今年度の課題・目標の内容及び真田地域に係る当初予算の概要について説明が

ありました。また、今後の地域協議会の進め方について協議し、昨年度に引き続き、3つの分科会で「地域まちづくり方針」の具体化に向けて協議を継続することになりました。



## 平成23年度 組織改正

市民に分かりやすく市民満足度の向上が図れる組織、政策目標の実現や政策課題の解決に向け効果的・効率的に対応できる組織づくりを目指して組織改正が行われました。

### 【真田地域教育事務所】

地域性を尊重しながらも一貫した方針のもとで施策に取り組めるよう、真田地域教育事務所の学校教育係を本庁の教育総務課と学校教育課に統合しました。なお、転入学事務や通学費補助申請受付などは、引き続き真田地域教育事務所、または、真田地域自治センター市民生活課で行います。

### 【真田上下水道課】

業務動向に応じた効率的・効果的な組織体制とするため、上下水道係と下水道係を上下水道担当に統合しました。

### 《事務所移転》

#### 【真田産業観光課観光工商係】

真田農業活性化施設 ゆきむら夢工房の運営が(財)上田市真田の郷振興公社から上田市直営となったことなどに伴い、観光工商係の事務所が真田農業活性化施設 ゆきむら夢工房へ移転しました。

### 《その他》

#### 【農林産物直売所 新鮮市】

上田市から指定を受けて(財)上田市真田の郷振興公社が管理運営していた農林産物直売所 新鮮市は、信州うえだ農協に運営委託されました。

## 真田少年スポーツ教室が開講

しっとり春雨の朝を迎えた4月9日に真田中央公民館大ホールで真田少年スポーツ教室の開講式が行われました。

23年度は10種目14教室に小学1年生から6年生までの324人が参加します。1年生から参加できるマラソン、剣道、柔道には7名の新1年生



を迎えてスポーツの楽しさや素晴らしさを体験しながら、心と体を鍛えます。

剣道教室では、新たに参加する本原小の1年生3人と長小の2年生1人が「楽しくやりたい」「強くなりたい」と話してくれました。防具の試着をすると始めは、少し緊張した様子でしたが、いつのまにか笑顔になっていました。

これからの活動に想いをさせて、明るく元気いっぱいの小学生の熱気で雨雲も消えたのか開講式が終わるころには青空になっていました。

## 「史跡探訪講座」参加者募集

募集

公民館では、「史跡探訪講座」の参加者を募集します。

今回は、上毛地方の史跡（群馬県立歴史博物館、小幡城址、横尾氏屋敷など）を巡ります。

日時：6月17日(金)

午前8時～午後5時30分(予定)

参加費：3,000円(見学科と昼食代)

定員：50名

(定員になり次第締め切ります)

申込み：電話または直接真田中央公民館へ。

真田中央公民館

有線2244 Tel.72-2655

## 真田図書館通信

おはなし広場

開催のお知らせ

真田図書館では、毎月第3土曜日の午前10時から2階の児童図書コーナーで「おはなし広場」を開催しています。

未就学から小学校低学年のお子さんを対象にボランティアの皆さんが、本の読み聞かせや紙芝居、おりがみ作りなどを行っています。事前の申し込みや参加費は要りませんので、お気軽にお出かけください。

5月▼「ちよちゃんのおへや」による手遊びなど

6月▼「笑いのワ」による腹話術

新刊本の紹介

●児童書

「やくらのさくらちゃん」

中川ひろたか

「じいじのさくら」

「できた図鑑」猪郷久義 監修

「菜の子先生の校外パトロール」

「もったいないばあさんもりへい」

「雨の降る日は考える日(1)」

「居(ご)ちのよい旅」

「ウィキリクスの衝撃」

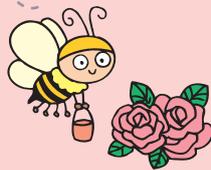
「絵本で世界を旅しよう」

「県庁おもてなし課」

「真田図書館」

有線2003 Tel.72-8080

## 子育てママの健康づくり教室



子どもや家族のことで精一杯、自分のことはつい後回しになっている子育て中のお母さん！

毎月1回、子どもと一緒に楽しく体を動かしながら、自分の体をケアしませんか？

- 日 程：5月23日(月)、6月24日(金)ほか来年3月まで毎月1回開催します。
- 時間 午前10時～11時
- 会場 真田中央公民館ホール
- 対象者 生後7か月ごろ(おすわりができるころ)から保育園・幼稚園入園前のお子さんとその保護者
- 参加費 無料
- 申し込み 初めて参加される方は、参加を希望する開催日の1週間前までに電話または直接、真田保健センターへ。



真田保健センター 有線2053 Tel.72-9007



## 真田運動公園 駐車場が完成

真田運動公園テニスコート南側に駐車場が完成しました。

1,736㎡を造成して砕石を敷きならした駐車場には、62台分の区画が設置され、2基の照明灯も整備されました。

## 真田地域の話題を募集します

地域振興課 有線2015 Tel.72-2202  
真田地域の身近な出来事や取り組みを紹介していきます。自分たちの活動を知ってもらいたい、多くの人に参加してほしいなど、掲載を希望する話題をお知らせください。